

10月18日（火）原子力防災訓練について

おはようございます。校長の坂本です。これから「原子力発電所事故の際の退避」について話をします。今日はすべて日本語で話します。よく聞いて下さい。

みなさんも知っているとおおり、唐津市のお隣玄海町に九州電力玄海原子力発電所があります。発電所周辺の地域は、原子力災害対策重点地区に指定されていて、すぐに避難準備をする、あるいは屋内退避をする地域に当たります。今私たちがいる厳木高校も重点地区内ですし、みなさんの自宅が重点地区内にある人も多いのではないのでしょうか。

原子力災害は他の自然災害や火事とは違い、目に見えない臭いもしない災害です。ですから私たち一人ひとりが原子力災害に対して正しい知識を持ち、自分勝手な判断をせず、自治体の指示に従い落ち着いて行動することが大切です。

安全な避難のために最も大切なことは、正確な情報の入手です。テレビ、ラジオ、インターネット、県や市の公式SNSなどから正しい情報を収集し、個人のSNSなどを信用し過ぎないようにしましょう。

原子力発電所で事故が起きた場合、その周囲に「放射性物質」が放出される恐れがあります。その放射性物質は目には見えませんが、雲のような塊となって空気中を移動する性質を持っているそうです。

屋内退避の指示が出された場合は、今日の訓練時のように自宅等の屋内に入り、外気を遮断するためにドアや窓を閉め、換気扇も止めてください。外気に触れた手と顔をよく洗うことも大切です。

また、他地区などへ移動避難する際は、「放射性物質」から身を守るため、できるだけ直接肌を出さない服装にすることを心がけてください。帽子かフード付きの上着、長そで長ズボン、手袋、口を覆うマスクやタオルなどを日頃から用意しておきましょう。レインコートなどでも構いません。

今日は学校で避難訓練を行いました。事故はいつどこで起きるか分かりません。今日の訓練で学んだことを活かし、日頃から正しく恐れながら、実際に災害が発生した場合には落ち着いて安全な避難行動を心がけてください。

これで原子力防災訓練を終わります。

（850字）